

## (1) 小学校教員養成課程 国語科事例集

コアカリキュラムの学習項目を元に構成されるシラバス例①～③を提示する。①及び②は、コアカリキュラムの学習項目のみで構成されたもの、③は項目を追加した例である。個々の学習項目を1回の授業で扱う必要があるわけではない。1つの項目を複数回の授業で扱うことも、複数の項目を1回の授業で扱うことも可能である。シラバスを作成する際は、コアカリキュラムの学習項目と必ずしも同一の表現を使う必要はない。

### 1. 国語科の指導法

#### ① コアカリキュラム学習項目のみで構成

授業実践・模擬授業をまとめて行う例

授業スケジュール	回	
	1	小学校国語科教育についての基本的な知識・理解 1 学習指導要領
	2	小学校国語科教育についての基本的な知識・理解 2 国語科教材・教科書
	3	「知識及び技能」に関する基本的な知識・理解 1 「言葉の特徴や使い方」
	4	「知識及び技能」に関する基本的な知識・理解 2 「情報の扱い方」
	5	「知識及び技能」に関する基本的な知識・理解 3 「我が国の言語文化」(書写の実技含む)
	6	「思考力, 判断力, 表現力等」に関する基本的な知識・理解 1 「話すこと・聞くこと」
	7	「思考力, 判断力, 表現力等」に関する基本的な知識・理解 2 「書くこと」
	8	「思考力, 判断力, 表現力等」に関する基本的な知識・理解 3 「読むこと」 文学的文章教材
	9	「思考力, 判断力, 表現力等」に関する基本的な知識・理解 4 「読むこと」 説明的文章教材
	10	授業実践 1 国語科授業づくりのための指導技術に関する知識・理解 (ICT の活用含む)
	11	授業実践 2 授業づくり 単元構想
	12	授業実践 3 授業づくり 一時間の授業
	13	模擬授業 1 <知識及び技能>・「話すこと聞くこと」の授業
	14	模擬授業 2 「書くこと」「読むこと」の授業
	15	まとめ

#### ② コアカリキュラム学習項目のみで構成

模擬授業を分散させた例

授業スケジュール	回	
	1	小学校国語科教育についての基本的な知識・理解 1 学習指導要領
	2	小学校国語科教育についての基本的な知識・理解 2 国語科教材・教科書 (ICT の活用含む)
	3	「知識及び技能」に関する基本的な知識・理解 1 「言葉の特徴や使い方」
	4	「知識及び技能」に関する基本的な知識・理解 2 「情報の扱い方」
	5	「知識及び技能」に関する基本的な知識・理解 3 「我が国の言語文化」(書写の実技含む)
	6	「思考力, 判断力, 表現力等」に関する基本的な知識・理解 1 「話すこと・聞くこと」
	7	実践デザイン・授業づくり 1 <知識及び技能>・「話すこと・聞くこと」の授業
	8	模擬授業 1 <知識及び技能>・「話すこと・聞くこと」の授業
	9	「思考力, 判断力, 表現力等」に関する基本的な知識・理解 2 「書くこと」
	10	「思考力, 判断力, 表現力等」に関する基本的な知識・理解 3 「読むこと」 文学的文章教材
	11	「思考力, 判断力, 表現力等」に関する基本的な知識・理解 4 「読むこと」 説明的文章教材

	12	実践デザイン・授業づくり2 「書くこと」「読むこと」の授業
	13	模擬授業2 「書くこと」「読むこと」の授業
	14	模擬授業3 「書くこと」「読むこと」の授業
	15	まとめ

③ コアカリキュラム学習項目以外の項目を追加して構成

活動例を示し、模擬授業を重視した例

授業スケジュール	回	
	1	小学校国語科教育についての基本的な知識・理解
	2	「知識及び技能」に関する基本的な知識・理解
	3	国語教育史、コミュニケーション、メディアリテラシーについての知識・理解
	4	毛筆による書写、読字障害、書字障害の児童についての知識・理解
	5	「伝統的な言語文化」、毛筆による書写、ICTの指導技術
	6	「思考力、判断力、表現力等」に関する基本的な知識・理解1 「話すこと聞くこと」
	7	実践デザイン・授業づくり1 <知識及び技能>・「話すこと聞くこと」の授業
	8	模擬授業1 <知識及び技能>・「話すこと聞くこと」の授業
	9	「思考力、判断力、表現力等」に関する基本的な知識・理解2 「書くこと」
	10	「思考力、判断力、表現力等」に関する基本的な知識・理解3 「読むこと」
	11	文学・論理についての知識・理解
	12	実践デザイン・授業づくり2 「書くこと」「読むこと」の授業
	13	模擬授業2 「書くこと」「読むこと」の授業
	14	模擬授業3 「書くこと」「読むこと」の授業
	15	まとめ

2. 国語科に関する専門的事項

コアカリキュラムの学習項目を元に構成されるシラバス例①～②を提示する。①は1単位、②は2単位を想定した例である。いずれの事例も各回の授業を「国語科に関する背景的な知識」などの2～3の項目に分けて実施する事例となっているが、オムニバスで開講する場合などは、実態に合わせて柔軟に回ごとに項目を分けることも可能である。

① 1単位8コマ分の授業構成例

授業スケジュール	回	
	1	授業実践に必要な言葉に関する背景的な知識1 文字、表記、語彙
	2	授業実践に必要な言葉に関する背景的な知識2 文法、文体、表現技法
	3	音読・朗読指導、読書指導に関する背景的な知識
	4	授業実践に必要な「情報の扱い方」に関する背景的な知識
	5	授業実践に必要な「我が国の言語文化」に関する背景的な知識1 「伝統的な言語文化」、「言葉の由来と変化」
	6	授業実践に必要な「我が国の言語文化」に関する背景的な知識2 書写1 概説・硬筆
	7	授業実践に必要な「我が国の言語文化」に関する背景的な知識3 書写2 毛筆
	8	授業実践に必要な言葉による見方・考え方及び言語感覚 まとめ

② 2単位15コマ分の授業構成例

授業 スケジュール	回	
	1	授業実践に必要な言葉に関する背景的な知識 1 文字,
	2	授業実践に必要な言葉に関する背景的な知識 2 表記, 語彙
	3	授業実践に必要な言葉に関する背景的な知識 3 文法
	4	授業実践に必要な言葉に関する背景的な知識 4 文体, 表現技法
	5	音読・朗読指導, 読書指導に関する背景的な知識
	6	授業実践に必要な「情報の扱い方」に関する背景的な知識 1 「情報と情報との関係」
	7	授業実践に必要な「情報の扱い方」に関する背景的な知識 2 「情報の整理」
	8	授業実践に必要な「我が国の言語文化」に関する背景的な知識 1 「伝統的な言語文化」 1 昔話, 神話, 伝承
	9	授業実践に必要な「我が国の言語文化」に関する背景的な知識 1 「伝統的な言語文化」 2 古文, 漢文, 文語調の文章
	10	授業実践に必要な「我が国の言語文化」に関する背景的な知識 2 「言葉の由来と変化」
	11	授業実践に必要な「我が国の言語文化」に関する背景的な知識 3 書写 1 概説 硬筆
	12	授業実践に必要な「我が国の言語文化」に関する背景的な知識 4 書写 2 毛筆
	13	授業実践に必要な「我が国の言語文化」に関する背景的な知識 5 書写 3 毛筆
	14	授業実践に必要な「我が国の言語文化」に関する背景的な知識 6 書写 3 硬筆
	15	授業実践に必要な言葉による見方・考え方及び言語感覚 まとめ

## (2) 小学校教員養成課程 社会科事例集

### 1. 社会科の指導法

コアカリキュラムの学習項目を元に構成されるシラバス例①～⑤を提示する。①及び②は、コアカリキュラムの学習項目のみで構成されたもの、③～⑤は項目を追加した例である。個々の学習項目を1回の授業で扱う必要があるわけではない。1つの項目を複数回の授業で扱うことも、複数の項目を1回の授業で扱うことも可能である。シラバスを作成する際は、コアカリキュラムの学習項目と必ずしも同一の表現を使う必要はない。

#### ① コアカリキュラム学習項目のみで構成

模擬授業をまとめて行う例

授業スケジュール	回	
	1	小学校社会科の意義と教科観の変遷
	2	学習指導要領における社会科の教育目標、指導内容
	3	小学校社会科の背景となっている関連諸学問や領域
	4	社会の変化や児童の実態と社会科における児童の発達や学習
	5	社会科における学習評価と個々の児童の理解と対応
	6	社会科における ICT とコミュニケーション技法
	7	社会科における学習集団の組織
	8	社会科における学習活動の構成
	9	社会科における教材研究
	10	社会科における指導計画
	11	模擬授業（第3学年）
	12	模擬授業（第4学年）
	13	模擬授業（第5学年）
	14	模擬授業（第6学年）
	15	社会科における授業改善

#### ② コアカリキュラム学習項目のみで構成

模擬授業を分散させた例

授業スケジュール	回	
	1	小学校社会科の意義と教科観の変遷
	2	学習指導要領における社会科の教育目標、指導内容
	3	小学校社会科の背景となっている関連諸学問や領域
	4	社会の変化や児童の実態と社会科における児童の発達や学習
	5	社会科における学習評価と個々の児童の理解と対応
	6	社会科における ICT とコミュニケーション技法
	7	社会科における学習集団の組織
	8	模擬授業（第3学年）
	9	社会科における学習活動の構成
	10	模擬授業（第4学年）
	11	社会科における教材研究

	12	模擬授業（第5学年）
	13	社会科における指導計画
	14	模擬授業（第6学年）
	15	社会科における授業改善

③ コアカリキュラム学習項目以外の項目を追加して構成

活動例を示し，模擬授業を重視した例

授業スケジュール	回	
	1	小学校社会科の意義と教科観の変遷
	2	学習指導要領における社会科の教育目標，指導内容
	3	小学校社会科の背景となっている関連諸学問や領域
	4	社会の変化や児童の実態と社会科における児童の発達や学習
	5	社会科における学習評価と個々の児童の理解と対応の実例
	6	社会科における ICT とコミュニケーション技法の実例
	7	社会科における学習集団の組織の実例
	8	社会科における学習活動の構成と問題解決的な学習への導き方
	9	社会科における教材研究の実例
	10	社会科における指導計画の実例
	11	社会科における資料の選択・提示・活用の実例
	12	模擬授業（中学年）
	13	模擬授業（高学年）
	14	社会科における授業改善
	15	小・中・高等学校の連携と小学校社会科の役割

④ コアカリキュラム学習項目以外の項目を追加して構成

小学校での授業観察，授業参加を組み込み，実践的な内容を重視した例

授業スケジュール	回	
	1	小学校社会科の意義と教科観の変遷
	2	学習指導要領における社会科の教育目標，指導内容
	3	小学校社会科の背景となっている関連諸学問や領域
	4	社会の変化や児童の実態と社会科における児童の発達や学習
	5	社会科における学習評価と個々の児童の理解と対応
	6	小学校社会科の授業観察
	7	小学校社会科の授業参観と活動への参加
	8	社会科における学習活動の構成と問題解決的な学習への導き方
	9	社会科における教材研究の実例
	10	社会科における指導計画の実例
	11	社会科における資料の選択・提示・活用の実例
	12	模擬授業（中学年）
	13	模擬授業（高学年）
	14	授業の振り返り，授業改善
	15	小・中・高等学校の連携と小学校の役割

⑤ コアカリキュラム学習項目以外の項目を追加して構成

社会科における指導のための基礎的な知識と演習を重視した例

授業スケジュール	回	
	1	小学校社会科の意義と教科観の変遷
	2	学習指導要領における社会科の教育目標、指導内容
	3	小学校社会科の背景となっている関連諸学問や領域
	4	社会の変化や児童の実態と社会科における児童の発達や学習
	5	社会科における学習評価と個々の児童の理解と対応
	6	授業映像の視聴（中学年の社会科）、討議
	7	授業映像視聴（高学年の社会科）、討議
	8	社会科における学習活動の構成と問題解決的な学習への導き方
	9	社会科における教材研究
	10	社会科における指導計画
	11	模擬授業（第3学年）
	12	模擬授業（第4学年）
	13	模擬授業（第5学年）
	14	模擬授業（第6学年）
	15	社会科における授業改善

2. 社会科に関する専門的事項

コアカリキュラムの学習項目を元に構成されるシラバス例①～④を提示する。①は1単位、②～④は2単位を想定した例である。いずれの事例も各回の授業を「社会諸科学に関する背景的な知識・技能」「授業実践に必要な公民としての資質・能力を育成する能力」などの2つの項目に分けて実施する事例となっているが、オムニバスで開講する場合などは、実態に合わせて柔軟に回ごとに項目を分けることも可能である。

① 1単位8コマ分の授業構成例

授業スケジュール	回	社会諸科学に関する背景的な知識・技能	授業実践に必要な公民としての資質・能力を育成する能力
	1	オリエンテーション	
	2	地域の地理的環境に関する基本的な知識	社会的事象の特色や相互の関連を多角的に考えること
	3	地域の歴史や伝統と文化を通じた社会生活に関する基本的な知識	社会的事象の特色を多角的に考えること
	4	現代社会の仕組みに関する基本的な知識	社会的事象の意味を多角的に考えること
	5	現代社会の働きに関する基本的な知識	社会に見られる課題を把握すること
	6	我が国の国土の地理的環境に関する基本的な知識	社会に見られる課題の解決に向けて社会への関わり方を選択・判断すること
	7	我が国の歴史や伝統と文化を通じた社会生活に関する基本的な知識	社会的事象について、選択・判断したことを適切に表現すること
	8	様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能	社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする事

② 2単位15コマ分の授業構成例

公民としての資質・能力の向上と地理学に関する理解を中心とした例

授業スケジュール	回	地理学に関する背景的な知識・技能	授業実践に必要な公民としての資質・能力を育成する能力
	1	オリエンテーション	
	2	市区町村の地理的環境に関する地誌の基本的な知識	社会的事象の特色や相互の関連を多角的に考えること(1)
	3	都道府県の地理的環境に関する地誌の基本的な知識	社会的事象の特色や相互の関連を多角的に考えること(2)
	4	市区町村の地理的環境に関する自然地理の基本的な知識	社会的事象の特色を多角的に考えること(1)
	5	都道府県の地理的環境に関する自然地理の基本的な知識	社会的事象の特色を多角的に考えること(2)
	6	市区町村の地理的環境に関する人文地理の基本的な知識	社会的事象の意味を多角的に考えること(1)
	7	都道府県の地理的環境に関する人文地理の基本的な知識	社会的事象の意味を多角的に考えること(2)
	8	地域の地理的環境に関する地図の基本的な知識と技能	社会に見られる課題を把握すること(1)
	9	世界の地理的環境に関する地誌の基本的な知識	社会に見られる課題を把握すること(2)
	10	日本の地理的環境に関する地誌の基本的な知識	社会に見られる課題の解決に向けて社会への関わり方を選択・判断すること(1)
	11	世界の地理的環境に関する自然地理の基本的な知識	社会に見られる課題の解決に向けて社会への関わり方を選択・判断すること(2)
	12	日本の地理的環境に関する自然地理の基本的な知識	社会的事象について、選択・判断したことを適切に表現すること(1)
	13	世界の地理的環境に関する人文地理の基本的な知識	社会的事象について、選択・判断したことを適切に表現すること(2)
	14	日本の地理的環境に関する人文地理の基本的な知識	社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとすること(1)
	15	世界と日本の地理的環境に関する地図の基本的な知識と技能	社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとすること(2)

③ 2単位15コマ分の授業構成例

公民としての資質・能力の向上と歴史学に関する理解を中心とした例

授業スケジュール	回	歴史学に関する背景的な知識・技能	授業実践に必要な公民としての資質・能力を育成する能力
	1	オリエンテーション	
	2	市区町村の歴史に関する現代史基本的な知識	社会的事象の特色や相互の関連を多角的に考えること(1)
	3	都道府県の歴史に関する現代史の基本的な知識	社会的事象の特色や相互の関連を多角的に考えること(2)
	4	市区町村の歴史に関する近代史の基本的な知識	社会的事象の特色を多角的に考えること(1)
	5	都道府県の歴史に関する近代史の基本的な知識	社会的事象の特色を多角的に考えること(2)
	6	市区町村の歴史に関する近世史以前の基本的な知識	社会的事象の意味を多角的に考えること(1)
	7	都道府県の歴史に関する近世史以前の基本的な知識	社会的事象の意味を多角的に考えること(2)
	8	市区町村の歴史的人物に関する基本的な知識と技能	社会に見られる課題を把握すること(1)
	9	都道府県の歴史的人物に関する基本的な知識	社会に見られる課題を把握すること(2)
	10	日本(世界)の歴史に関する現代史の基本的な知識	社会に見られる課題の解決に向けて社会への関わり方を選択・判断すること(1)

	11	日本（世界）の歴史に関する近代史の基本的な知識	社会に見られる課題の解決に向けて社会への関わり方を選択・判断すること(2)
	12	日本（世界）の歴史に関する近世史の基本的な知識	社会的事象について、選択・判断したことを適切に表現すること(1)
	13	日本（世界）の歴史に関する中世史の基本的な知識	社会的事象について、選択・判断したことを適切に表現すること(2)
	14	日本（世界）の歴史に関する古代史の基本的な知識	社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする(1)
	15	日本（世界）の歴史的人物に関する基本的な知識と技能	社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする(2)

#### ④ 2単位15コマ分の授業構成例

公民としての資質・能力の向上と政治学・法律学・経済学・社会学・哲学・倫理学等に関する理解を中心とした例

授業スケジュール	回	政治学・法律学・経済学・社会学哲学・倫理学に関する背景的な知識・技能	授業実践に必要な公民としての資質・能力を育成する能力
	1	オリエンテーション	
	2	市区町村に関する政治学・法律学・経済学・社会学・哲学・倫理学等の基本的な知識	社会的事象の特色や相互の関連を多角的に考えること(1)
	3	都道府県に関する政治学・法律学・経済学・社会学・哲学・倫理学等の基本的な知識	社会的事象の特色や相互の関連を多角的に考えること(2)
	4	地域に見られる生産や消費の仕事に関する政治学・法律学・経済学・社会学・哲学・倫理学等の基本的な知識	社会的事象の特色を多角的に考えること(1)
	5	地域の安全を守る働きに関する政治学・法律学・経済学・社会学・哲学・倫理学等の基本的な知識	社会的事象の特色を多角的に考えること(2)
	6	人々の健康や生活環境を支える事業に関する政治学・法律学・経済学・社会学・哲学・倫理学等の基本的な知識	社会的事象の意味を多角的に考えること(1)
	7	自然災害から人々を守る活動に関する政治学・法律学・経済学・社会学・哲学・倫理学等の基本的な知識	社会的事象の意味を多角的に考えること(2)
	8	我が国の農業や水産業における食料生産に関する政治学・法律学・経済学・社会学・哲学・倫理学等の基本的な知識と技能	社会に見られる課題を把握すること(1)
	9	我が国の工業生産に関する政治学・法律学・経済学・社会学・哲学・倫理学等の基本的な知識と技能	社会に見られる課題を把握すること(2)
	10	我が国の産業と情報との関わりに関する政治学・法律学・経済学・社会学・哲学・倫理学等の基本的な知識と技能	社会に見られる課題の解決に向けて社会への関わり方を選択・判断すること(1)
	11	我が国の政治の働きに関する政治学・法律学・経済学・社会学・哲学・倫理学等の基本的な知識と技能	社会に見られる課題の解決に向けて社会への関わり方を選択・判断すること(2)
	12	グローバル化する世界と日本の役割に関する政治学・法律学・経済学・社会学・哲学・倫理学等の基本的な知識と技能	社会的事象について、選択・判断したことを適切に表現すること(1)
	13	日本に関する政治学・法律学・経済学・社会学・哲学・倫理学等の基本的な知識と技能	社会的事象について、選択・判断したことを適切に表現すること(2)
	14	世界に関する政治学・法律学・経済学・社会学・哲学・倫理学等の基本的な知識と技能	社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする(1)
	15	日本と世界の関係に関する政治学・法律学・経済学・社会学・哲学・倫理学等の基本的な知識と技能	社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする(2)



### (3) 小学校教員養成課程 算数科事例集

#### 1. 小学校算数科の指導法

コアカリキュラムの学習項目を元に構成されるシラバス例①～⑥を提示する。①及び②は、コアカリキュラムの学習項目のみで構成されたもの、③～⑥は項目を追加した例であり、追加した項目には「\*」を付した。個々の学習項目を1回の授業で扱う必要があるわけではない。1つの項目を複数回の授業で扱うことも、複数の項目を1回の授業で扱うことも可能である。シラバスを作成する際は、コアカリキュラムの学習項目と必ずしも同一の表現を使う必要はない。

#### ① コアカリキュラム学習項目のみで構成

模擬授業をまとめて行う例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション、小学校算数科の意義・小学校算数科観の変遷
	2	学習指導要領における小学校算数科の目標・内容・全体構造
	3	小学校算数科と中・高等学校数学科の連携
	4	小学校算数科における数学的活動
	5	社会の変化や児童の実態への対応
	6	小学校算数科における児童の学習の実際や特徴
	7	小学校算数科における学習評価と個への対応
	8	小学校算数科におけるICTの活用
	9	数学的表現の置き換え・関連付け
	10	学習活動の構成と学習集団の組織化
	11	教材研究
	12	学習指導案の作成
	13	模擬授業(1)
	14	模擬授業(2)
	15	まとめ

#### ② コアカリキュラム学習項目のみで構成

模擬授業を分散させた例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション、小学校算数科の意義・小学校算数科観の変遷
	2	学習指導要領における小学校算数科の目標・内容・全体構造
	3	小学校算数科と中・高等学校数学科の連携
	4	小学校算数科における数学的活動
	5	社会の変化や児童の実態への対応
	6	小学校算数科における児童の学習の実際や特徴、学習評価
	7	学習活動の構成と学習集団の組織化
	8	教材研究
	9	小学校算数科におけるICTの活用
	10	学習指導案の作成
	11	模擬授業(1)(ICT活用)
	12	数学的表現の置き換え・関連付け
	13	学習指導案の作成

	14	模擬授業（２）（数学的表現）
	15	まとめ

③ コアカリキュラム学習項目以外の項目を追加して構成

模擬授業をまとめて行う例

授業 スケジュール	回	
	1	オリエンテーション, 小学校算数科の意義・小学校算数科観の変遷
	2	学習指導要領における小学校算数科の目標・内容・全体構造
	3	小学校算数科と中・高等学校数学科の連携, 数学的活動
	4	社会の変化や児童の実態への対応
	5	小学校算数科における児童の学習の実際や特徴
	6	小学校算数科における学習評価と個への対応
	7	小学校算数科における ICT の活用
	8	数学的表現の置き換え・関連付け
	9	学習活動の構成と学習集団の組織化
	10	教材研究
	11	学習指導案の作成
	12	模擬授業（１）
	13	模擬授業（２）
	14	教科経営案（算数科）の作成*
	15	まとめ

④ コアカリキュラム学習項目以外の項目を追加して構成

模擬授業をまとめて行う例

授業 スケジュール	回	
	1	オリエンテーション, 小学校算数科の意義・小学校算数科観の変遷
	2	学習指導要領における小学校算数科の目標・内容・全体構造
	3	小学校算数科と中・高等学校数学科の連携, 数学的活動
	4	社会の変化や児童の実態への対応
	5	小学校算数科における児童の学習の実際や特徴
	6	小学校算数科における学習評価と個への対応
	7	小学校算数科における ICT の活用
	8	数学的表現の置き換え・関連付け
	9	学習活動の構成と学習集団の組織化
	10	教材研究
	11	日常の事象の数理的考察・教材開発*
	12	学習指導案の作成
	13	模擬授業（１）
	14	模擬授業（２）
	15	まとめ

⑤ コアカリキュラム学習項目以外の項目を追加して構成

模擬授業を分散させた例

授業 スケジュール	回	
	1	オリエンテーション, 小学校算数科の意義・小学校算数科観の変遷
	2	学習指導要領における小学校算数科の目標・内容・全体構造

	3	小学校算数科と中・高等学校数学科の連携
	4	小学校算数科における児童の学習の実際や特徴
	5	小学校算数科における学習評価と個への対応
	6	学習活動の構成と学習集団の組織化
	7	小学校算数科における ICT の活用
	8	教材研究
	9	日常の事象の数理的考察・教材開発*
	10	学習指導案の作成
	11	模擬授業（1）（日常の事象の教材化）
	12	数学的表現の置き換え・関連付け
	13	学習指導案の作成
	14	模擬授業（2）（数学的表現）
	15	まとめ

⑥ コアカリキュラム学習項目以外の項目を追加して構成

小学校での授業観察，授業参加を組み込み，実践的な内容を重視した例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション，小学校算数科の意義・小学校算数科観の変遷
	2	学習指導要領（小学校算数科，中・高等学校数学科）
	3	小学校算数科における児童の学習の実際や特徴
	4	小学校算数科における学習評価と個への対応
	5	学習活動の構成と学習集団の組織化
	6	小学校算数科における ICT の活用
	7	小学校での授業観察*
	8	教材研究
	9	日常の事象の数理的考察・教材開発*
	10	学習指導案の作成
	11	模擬授業（1）（日常の事象の教材化）
	12	数学的表現の置き換え・関連付け
	13	学習指導案の作成
	14	模擬授業（2）（数学的表現）
	15	まとめ

2. 算数科に関する専門的事項

コアカリキュラムの学習項目を元に構成されるシラバス例①～③を提示する。①は1単位，②③は2単位を想定した例である。いずれの事例も各回の授業を「授業実践に必要な数理運用力」「算数科に関する背景的知識」の2つの項目に分けて実施する事例となっているが，オムニバスで開講する場合などは，実態に合わせて柔軟に回ごとに項目を分けることも可能である。

① 1単位8コマ分の授業構成例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション
	2	数と計算に関する基本的な数理運用力
	3	図形に関する数理運用力
	4	測定に関する数理運用力

	5	変化と関係に関する数理運用力
	6	データの活用に関する数理運用力
	7	現実の世界の数学的探求
	8	数学の世界の数学的探求

② 2単位15コマ分の授業構成例

数理運用力の向上と算数科に関する背景的な知識の理解に関する各学習項目を同程度に扱った場合の例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション
	2	数と計算に関する基本的な数理運用力（1）
	3	数と計算に関する基本的な数理運用力（2）
	4	図形に関する数理運用力（1）
	5	図形に関する数理運用力（2）
	6	測定に関する数理運用力
	7	変化と関係に関する数理運用力
	8	データの活用に関する数理運用力（1）
	9	データの活用に関する数理運用力（2）
	10	現実の世界の数学的探求（1）
	11	現実の世界の数学的探求（2）
	12	数学の世界の数学的探求（1）
	13	数学の世界の数学的探求（2）
	14	問題発見・解決・発展の過程としての数学
	15	まとめ

③ 2単位15コマ分の授業構成例

数理運用力の向上と算数科に関する背景的な知識の理解に関する各学習項目の扱いに重点化を行った場合の例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション
	2	数と計算に関する基本的な数理運用力（1）
	3	数と計算に関する基本的な数理運用力（2）
	4	数と計算に関する基本的な数理運用力（3）
	5	数と計算に関する基本的な数理運用力（4）
	6	図形に関する数理運用力（1）
	7	図形に関する数理運用力（2）
	8	測定に関する数理運用力
	9	変化と関係に関する数理運用力
	10	データの活用に関する数理運用力（1）
	11	データの活用に関する数理運用力（2）
	12	現実の世界の数学的探求
	13	数学の世界の数学的探求
	14	問題発見・解決・発展の過程としての数学
	15	まとめ

## (4) 小学校教員養成課程 理科事例集

コアカリキュラムの学習項目を元に構成されるシラバス例①～⑥を提示する。個々の学習項目を1回の授業で扱う必要があるわけではない。1つの項目を複数回の授業で扱うことも、複数の項目を1回の授業で扱うことも可能である。シラバスを作成する際は、コアカリキュラムの学習項目と必ずしも同一の表現を使う必要はない。

### 1. 理科の指導法

#### ①コアカリキュラムの各学習項目をほぼ1回ずつの授業で構成した例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション、理科の意義と理科の教科観の変遷
	2	理科の学習指導要領の位置付けと構造
	3	小学校理科の教育目標、育成を目指す資質・能力
	4	小学校理科の指導内容と理科の背景となっている関連諸学問や領域
	5	社会や生活環境の変化と児童の実態
	6	理科の学習に関わる児童の実態と特徴
	7	理科における評価の観点と学習評価のあり方
	8	理科に関わる児童の理解の特性に応じた指導法
	9	理科授業におけるICTの活用とコミュニケーション技法
	10	理科における学習集団の組織と学習活動の構成
	11	理科の教材研究
	12	理科の学習指導案等の作成
	13	模擬授業の実践と振り返り
	14	理科授業の改善の視点と方法
	15	まとめ

#### ②コアカリキュラムの複数の学習項目を組み合わせて1回の授業を構成した例（模擬授業をまとめて行う）

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション、学習指導要領
	2	小・中・高等学校の連携と小学校の役割、児童や学校の多様性への対応、主教材
	3	理科の目標
	4	理科の内容
	5	理科の学習に関わる児童の実態と特徴
	6	理科の方法（問題解決的な学習指導等）
	7	理科の方法（観察・実験のあり方等）
	8	理科の評価（学習到達目標の活用を含む）
	9	理科の計画（年間指導計画・単元計画等）
	10	理科の実践（1時間の授業づくり、学習指導案等）
	11	題材の選定、教材研究、ICT等の活用
	12	模擬授業発表・振り返り・授業改善（1）
	13	模擬授業発表・振り返り・授業改善（2）
	14	模擬授業発表・振り返り・授業改善（3）
	15	まとめ

③コアカリキュラムの複数の学習項目を組み合わせ、1回の授業を構成した例（模擬授業を分散させて行う）

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション、学習指導要領
	2	小・中・高等学校連携、児童や学校の多様性への対応、主教材
	3	理科の目標
	4	理科の内容
	5	理科の方法
	6	理科の計画（年間指導計画・単元計画等）
	7	理科の実践（1時間の授業づくり、学習指導案等）
	8	模擬授業（第3学年）
	9	題材の選定、教材研究、ICT等の活用
	10	模擬授業（第4学年）
	11	教材の選択と演示実験の仕方、観察・実験のさせ方、観察・実験のデータ処理や考察のさせ方
	12	模擬授業（第5学年）
	13	課題解決的な学習への導き方
	14	模擬授業（第6学年）
	15	まとめ

④活動例を示し、模擬授業を重視した例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション、理科教育全体把握
	2	学習指導要領、主教材、ICT等の活用
	3	理科の目標
	4	理科の内容
	5	理科の方法
	6	理科の実践
	7	題材の選定、教材研究、ICT等の活用
	8	教材の選択と演示実験の仕方、観察・実験のさせ方、観察・実験のデータ処理や考察のさせ方
	9	指導計画（年間指導計画、単元構成）
	10	指導計画（1時間の授業構成、学習指導案）、学習状況の評価
	11	模擬授業設計準備、題材、教材
	12	模擬授業発表・振り返り（1）
	13	模擬授業発表・振り返り（2）
	14	模擬授業の授業改善
	15	小・中・高等学校の連携と小学校の役割 まとめ

⑤小学校での授業観察、授業参加を組み込み、実践的な内容を重視した例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション、理教科教育全体把握
	2	学習指導要領、主教材、ICT等の活用
	3	理科の目標
	4	理科の内容
	5	理科の方法
	6	題材の選定、教材研究、ICT等の活用
	7	資料の選択と提示の仕方、資料からの読み取りの引き出し方

	8	問題解決的な学習への導き方
	9	指導計画（年間指導計画、単元計画）、学習状況の評価
	10	学習指導目標、指導計画（1時間の授業構成、学習指導案）
	11	模擬授業発表、振り返り
	12	小学校での授業観察
	13	小学校での授業参観、活動参加
	14	授業の振り返り、授業改善
	15	小・中・高等学校の連携と小学校の役割 まとめ

⑥理科における指導のための基礎的な知識と演習を重視した例

授業 スケジュール	回	
	1	オリエンテーション、理科創設の経緯・現状
	2	学習指導要領の趣旨理解、小・中・高等学校の連携と小学校の役割
	3	理科の目標
	4	理科の内容と方法
	5	主教材（中学年用）、ICT等の活用の仕方、学習到達目標、指導計画
	6	授業映像の視聴（中学年の理科）、討議
	7	主教材（高学年用）、ICT等の活用の仕方、題材、教材、学習状況の評価
	8	映像視聴（高学年の理科）、討議
	9	模擬授業設計・準備（中学年：理科の授業）、教材の選択と演示実験の仕方、観察・実験のさせ方、観察・実験のデータ処理や考察のさせ方
	10	模擬授業発表・振り返り・授業改善（1）
	11	模擬授業発表・振り返り・授業改善（2）
	12	模擬授業設計・準備（高学年：理科の授業）、問題解決的な学習への導き方
	13	模擬授業発表・振り返り・授業改善（3）
	14	模擬授業発表・振り返り・授業改善（4）
	15	児童や学校の多様性、理科の評価、まとめ

2. 理科に関する専門的事項

コアカリキュラムの学習項目を元に構成されるシラバス例①～③を提示する。事例①と②は1単位を想定したもので、事例①はコアカリキュラムの「授業実践に必要な科学的探究力」と「理科に関する背景な知識」の各学習項目をそれぞれ1回の授業で扱う例である。しかし、個々の学習項目を1回の授業で扱う必要があるわけではなく、事例②のように、複数の学習項目を組み合わせることで1回の授業で扱うこともできる。事例③は2単位を想定した例である。

①1単位8コマ分の授業構成例（コアカリキュラムの各学習項目を1回の授業で扱う場合）

授業 スケジュール	回	
	1	科学的な探究の方法・プロセス
	2	「物質・エネルギー」の学習内容の背景となる基本的な科学的知識
	3	「生命・地球」の学習内容の背景となる基本的な科学的知識
	4	観察・実験に関する安全指導
	5	「物質」の学習内容に関わる観察・実験
	6	「エネルギー」の学習内容に関わる観察・実験
	7	「生命」の学習内容に関わる観察・実験
	8	「地球」の学習内容に関わる観察・実験

② 1 単位 8 コマ分の授業構成例（学習項目の「科学的な探究の方法・プロセス」と「観察・実験に関する安全指導」については、「物質・エネルギー」及び「生命・地球」の学習内容の背景となる基本的な科学的知識及び関連する観察・実験を扱う授業の中に組み込んで扱う場合）

授業スケジュール	回	
	1	「物質」の学習内容の背景となる基本的な科学的知識
	2	「物質」の学習内容に関わる観察・実験
	3	「エネルギー」の学習内容の背景となる基本的な科学的知識
	4	「エネルギー」の学習内容に関わる観察・実験
	5	「生命」の学習内容の背景となる基本的な科学的知識
	6	「生命」の学習内容に関わる観察・実験
	7	「地球」の学習内容の背景となる基本的な科学的知識
	8	「地球」の学習内容に関わる観察・実験

③ 2 単位 15 コマ分の授業構成例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション, 科学的な探究の方法・プロセス
	2	「物質」の学習内容の背景となる基本的な科学的知識
	3	「物質」の学習内容に関わる観察・実験(1)
	4	「物質」の学習内容に関わる観察・実験(2)
	5	「エネルギー」の学習内容の背景となる基本的な科学的知識
	6	「エネルギー」の学習内容に関わる観察・実験(1)
	7	「エネルギー」の学習内容に関わる観察・実験(2)
	8	「生命」の学習内容の背景となる基本的な科学的知識
	9	「生命」の学習内容に関わる観察・実験(1)
	10	「生命」の学習内容に関わる観察・実験(2)
	11	「地球」の学習内容の背景となる基本的な科学的知識
	12	「地球」の学習内容に関わる観察・実験(1)
	13	「地球」の学習内容に関わる観察・実験(2)
	14	観察・実験に関する安全指導(1)
	15	観察・実験に関する安全指導(2), まとめ



## (5) 小学校教員養成課程 生活科事例集

コアカリキュラムの学習項目に基づき構成されるシラバス例を提示する。

### 1. 生活科の指導法 (2単位 15回)

#### ① コアカリキュラムの学習項目に基づき構成されるシラバス

授業観察を中盤で行い，模擬授業を終盤で行う例

授業スケジュール	回	
	1	小学校生活科の意義と変遷
	2	小学校学習指導要領の構造と小学校生活科
	3	小学校生活科の教育目標と育成を目指す資質・能力
	4	小学校生活科の指導内容
	5	小学校生活科の指導内容の構造と諸学問との関連
	6	小学校生活科の指導上の留意点
	7	小学校生活科の授業実践（授業参観または映像視聴）
	8	小学校生活科における児童の姿とその理解
	9	小学校生活科におけるICT活用とコミュニケーション技法
	10	小学校生活科における学習活動の構成と学習集団の組織
	11	小学校生活科の教材研究と指導計画・学習指導案の作成
	12	学習指導案の吟味と修正
	13	模擬授業の実施と振り返り
	14	小学校生活科授業改善の視点
	15	小学校生活科のカリキュラム・マネジメント

#### ② コアカリキュラムの学習項目に基づき構成されるシラバス

授業観察を前半で行い，模擬授業を終盤で行う例

授業スケジュール	回	
	1	小学校生活科の意義と変遷
	2	小学校学習指導要領の構造と小学校生活科
	3	小学校生活科の教育目標と育成を目指す資質・能力
	4	小学校生活科の授業実践（授業参観または映像視聴）
	5	小学校生活科における児童の姿とその理解
	6	小学校生活科の指導内容
	7	小学校生活科の指導内容の構造と諸学問との関連
	8	小学校生活科の指導上の留意点
	9	小学校生活科におけるICT活用とコミュニケーション技法
	10	小学校生活科における学習活動の構成と学習集団の組織
	11	小学校生活科の教材研究と指導計画・学習指導案の作成
	12	学習指導案の吟味と修正
	13	模擬授業の実施と振り返り
	14	小学校生活科授業改善の視点
	15	小学校生活科のカリキュラム・マネジメント

2. 生活科に関する専門的事項 (1単位 8回)

① 1単位8コマ分の授業構成例

授業 スケジュール	回	
	1	小学校生活科における具体的な活動や体験とその構成
	2	小学校生活科における「合科的・関連的な指導」と「学校段階等間の接続」
	3	環境と関わり自立し生活を豊かにしていく過程
	4	学校、家庭及び地域の生活に関する内容
	5	身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容
	6	自分自身の生活や成長に関する内容
	7	生活上必要な習慣や技能と健康・安全
	8	まとめ

## (6) 小学校教員養成課程 音楽科事例集

コアカリキュラムに示された個々の学習項目を複数の授業にわたって扱うこともできる。また、1つの項目を複数回の授業で扱うことも、複数の項目を1回の授業で扱うことも可能である。コアカリキュラムの学習項目と必ずしも同一の表現を使う必要もない、という前提で作成した。

### 1. 音楽科の指導法

コアカリキュラムの学習項目を元に構成されるシラバス例①～③を提示する。

#### ① 学習内容と指導法の関連に重点を置いた授業構成例

授業スケジュール	回	
	1	小学校音楽科の意義と、教科観の変遷
	2	小学校音楽科の教育課程と学習指導要領
	3	小学校音楽科の目標と指導内容
	4	小学校音楽科の内容構成と学習（1）歌唱
	5	小学校音楽科の内容構成と学習（2）器楽
	6	小学校音楽科の内容構成と学習（3）音楽づくり
	7	小学校音楽科の内容構成と学習（4）鑑賞
	8	我が国や諸外国の音楽の学習
	9	児童の発達、個別のニーズ、生活や社会の変化と音楽科の学習
	10	教材研究と教材づくり—情報機器及び教材の活用—
	11	指導計画の作成及び学習指導案の立案、学習状況の評価
	12	音楽学習における言語活動の工夫と指導言の実際
	13	模擬授業の実施
	14	模擬授業の振り返り
	15	まとめ

#### ② 児童の発達段階・学習領域に応じた模擬授業に重点を置いた授業構成例

授業スケジュール	回	
	1	小学校音楽科の意義と教科観の変遷
	2	小学校音楽科の教育課程と学習指導要領
	3	小学校音楽科の目標と内容
	4	指導計画の作成及び学習指導案の立案・学習状況の評価
	5	教材研究と教材づくり—情報機器及び教材の活用—
	6	児童の実態と学習活動の工夫
	7	小学校音楽科における学習の特性に応じた指導方法と言語活動の工夫
	8	模擬授業の実施と振り返り（歌唱・低、中学年）
	9	模擬授業の実施と振り返り（歌唱・高学年）
	10	模擬授業の実施と振り返り（器楽・低、中学年）
	11	模擬授業の実施と振り返り（器楽・高学年）
	12	模擬授業の実施と振り返り（音楽づくり・低学年）
	13	模擬授業の実施と振り返り（音楽づくり・中、高学年）
	14	模擬授業の実施と振り返り（鑑賞）
	15	まとめ

③ 教材研究に重点を置いた授業構成例

授業スケジュール	回	
	1	生活や社会と音や音楽・音楽科の意義と学習指導要領
	2	児童の発達や個別のニーズ・実態に配慮した音楽学習の在り方
	3	指導計画の作成及び学習指導案の立案・評価
	4	歌唱の教材研究・教材づくり
	5	歌唱の授業づくり—情報機器及び教材の活用—・評価
	6	器楽の教材研究・教材づくり
	7	器楽の授業づくり—情報機器及び教材の活用—・評価
	8	音楽づくりの教材研究・教材づくり
	9	音楽づくりの授業づくり—情報機器及び教材の活用—・評価
	10	鑑賞の教材研究と教材づくり
	11	鑑賞の授業づくり—情報機器及び教材の活用—・評価
	12	我が国や郷土の音楽を教材とする実践
	13	諸外国の音楽を教材とする実践
	14	模擬授業の実施
	15	模擬授業の振り返りとまとめ

2. 音楽に関する専門的事項

コアカリキュラムの学習項目を元に構成されるシラバス例①～⑦を提示する。①は1単位、②～⑦は2単位を想定した例である。

① 1単位8コマ分の授業構成例

授業スケジュール	回	
	1	歌唱表現の技能と工夫① [共通事項]の理解 伴奏の技能と工夫①—伴奏の役割・打楽器による伴奏の実践
	2	歌唱表現の技能と工夫② 指揮の技能と工夫、曲想と音楽の構造などとの関わりについての理解 伴奏の技能と工夫②—鍵盤楽器演奏の際の姿勢・指番号・指使い・練習方法
	3	器楽表現の技能と工夫① 楽器の活用法 伴奏の技能と工夫③—和音及びコードネームの理解とともに
	4	器楽表現の技能と工夫② 曲想と音楽の構造との関わり 伴奏の技能と工夫④—曲の特徴にふさわしい表現を目指して
	5	音楽づくりの技能と工夫① 伴奏の技能と工夫⑤—伴奏形・リズム形の工夫
	6	音楽づくりの技能と工夫② 伴奏の技能と工夫⑥—旋律に合った伴奏のつけ方
	7	鑑賞① 音楽形式の理解 我が国や諸外国の音楽 伴奏の技能と工夫⑦—移調奏
	8	鑑賞② 生活や社会における音や音楽 伴奏の技能と工夫⑧—楽譜どおりに演奏することが困難な場合の方法

② 2単位 15 コマ分の授業構成例

授業 スケジュール	回	
	1	生活や社会における音や音楽 我が国や諸外国の音楽 伴奏の技能と工夫①—伴奏の役割・打楽器による伴奏の実践
	2	歌唱表現の技能と工夫① [共通事項]の理解 伴奏の技能と工夫②—鍵盤楽器演奏の際の姿勢・指番号・指使い・練習方法
	3	歌唱表現の技能と工夫② 伴奏の技能と工夫③—主旋律と低声部に焦点をあてて
	4	指揮の技能と工夫 伴奏の実践①—歌唱の伴奏
	5	合唱表現の技能と工夫 声の種類・変声期の理解 伴奏の技能と工夫④—和音に焦点をあてて
	6	器楽表現の技能と工夫① 楽器の活用法①—リコーダー・鍵盤ハーモニカを中心に 伴奏の技能と工夫⑤—曲の特徴にふさわしい表現を目指して
	7	器楽表現の技能と工夫② 曲想と音楽の構造との関わりについての理解 楽器の活用法②—音楽室の様々な楽器を中心に 伴奏の技能と工夫⑥—練習方法の振り返りと改善
	8	器楽合奏の技能と工夫 楽器の活用法③—電気楽器・ICT等のテクノロジーを中心に 伴奏の実践②—器楽合奏の伴奏
	9	伴奏の技能と工夫⑦—和音及びコードネームの理解とともに
	10	音楽づくりの技能と工夫① 伴奏の技能と工夫⑧—伴奏形・リズム形の工夫
	11	音楽づくりの技能と工夫② 伴奏の技能と工夫⑨—旋律に合った伴奏のつけ方
	12	音楽づくりの活動の考案① 音楽づくりの活動のための学習材①—音の出るものを中心に— 伴奏の技能と工夫⑩—移調奏
	13	音楽づくりの活動の考案② 音楽づくりの活動のための学習材②—音楽を記録する方法を中心に— 伴奏の技能と工夫⑪—楽譜どおりに演奏することが困難な場合の方法
	14	鑑賞① 音楽形式の理解 我が国や諸外国の音楽 伴奏の実践③—ポピュラー音楽等の新しい歌を中心に
	15	鑑賞② 伴奏の実践④—我が国や諸外国の音楽を中心に

③ 音楽表現の基礎技能の習得に重点を置いた授業構成例

授業 スケジュール	回	
	1	我が国や諸外国の音楽
	2	発声の基礎・声の種類 音楽表現を支える教具
	3	様々な発声 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語とその働き①
	4	歌唱活動の基礎 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語とその働き②
	5	合唱活動の基礎 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語とその働き③

	6	楽器の演奏法の基礎 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語とその働き④
	7	合奏活動の基礎 音楽表現を支える視聴覚機器
	8	即興演奏の基礎①—遊びを中心に
	9	即興演奏の基礎②—様々な条件に基づいた活動を中心に
	10	指揮の基礎①—コミュニケーションとしての指揮
	11	指揮の基礎②—指揮の方法
	12	伴奏の基礎—様々な伴奏法
	13	作・編曲の基礎①—短い音楽をつくる
	14	作・編曲の基礎②—児童の実態を踏まえた編曲
	15	コンサートの開催—その楽しさを味わって

④ 歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞を分けて実践する授業構成例

授業 スケジュール	回	
	1	オリエンテーション—我が国や諸外国の音楽・生活や社会における音や音楽
	2	歌唱①—読譜と発声などの基礎技能を中心に
	3	歌唱②—曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに着目して
	4	歌唱③—指揮を伴って
	5	歌唱④—思いや意図に合った表現をするために
	6	器楽①—楽器の奏法の基礎、合奏の体験
	7	器楽②—楽器や音響機器の活用
	8	器楽③—曲想と音楽の構造との関わりに着目して
	9	器楽④—思いや意図に合った表現をするために
	10	音楽づくり①—音遊びと即興的な表現
	11	音楽づくり②—音楽の仕組みに着目して
	12	音楽づくり③—発想・思いや意図に合った表現をするために
	13	鑑賞①—曲や演奏のよさなどを見いだす
	14	鑑賞②—曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりに着目して
	15	鑑賞③—聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりに着目して

⑤ 歌唱・器楽・音楽づくり・伴奏を柔軟に織り交ぜて行う授業構成例

授業 スケジュール	回	
	1	歌唱表現・器楽表現・音楽づくり・伴奏の技能と工夫①—その楽しさを味わって
	2	歌唱表現・器楽表現・音楽づくり・伴奏の技能と工夫②—音遊びと即興的な表現を中心に
	3	歌唱表現・器楽表現・音楽づくり・伴奏の技能と工夫③—曲想と音楽の構造などとの関わりを意識して
	4	歌唱表現・器楽表現・音楽づくり・伴奏の技能と工夫④—楽譜とのかかわりに着目して
	5	歌唱表現・器楽表現・音楽づくり・伴奏の技能と工夫⑤—様々な楽器の活用を中心に
	6	歌唱表現・器楽表現・音楽づくり・伴奏の技能と工夫⑥—電気楽器・ICT等のテクノロジーの活用を取り入れて
	7	歌唱表現・器楽表現・音楽づくり・伴奏の技能と工夫⑦—楽器以外の音の出るものを用いて
	8	歌唱表現・器楽表現・音楽づくり・伴奏の技能と工夫⑧—児童の表現を支える伴奏を中心に
	9	歌唱表現・器楽表現・音楽づくり・伴奏の技能と工夫⑨—鑑賞領域とのかかわりを意識して
	10	歌唱表現・器楽表現・音楽づくり・伴奏の技能と工夫⑩—我が国や諸外国の音楽を中心に
	11	歌唱表現・器楽表現・音楽づくり・伴奏の技能と工夫⑪—記譜法の違いに着目して
	12	歌唱表現・器楽表現・音楽づくり・伴奏の技能と工夫⑫—音楽を形づくっている要素に着目して

	13	歌唱表現・器楽表現・音楽づくり・伴奏の技能と工夫⑬—多様なジャンルの音楽を参照して
	14	歌唱表現・器楽表現・音楽づくり・伴奏の技能と工夫⑭—音楽表現を支える教具・視聴覚機器の活用に焦点をあてて
	15	コンサートの開催—その楽しさを味わって

⑥ 多種多様な音楽の実践に重点を置いた授業構成例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション—様々な音楽様式に基づいた音楽
	2	歌唱表現の技能と工夫①—歌唱共通教材を中心に
	3	歌唱表現の技能と工夫②—ポピュラー音楽等の新しい歌を中心に
	4	歌唱表現の技能と工夫③—我が国や諸外国の音楽を中心に
	5	歌唱表現の技能と工夫④—歌以外の声の表現を中心に
	6	器楽表現の技能と工夫①—児童器楽合奏のための作品群を中心に
	7	器楽表現の技能と工夫②—ポピュラー音楽等の新しい歌を中心に
	8	器楽表現の技能と工夫③—我が国や諸外国の音楽を中心に
	9	音楽づくりの技能と工夫①—音遊びを中心に
	10	音楽づくりの技能と工夫②—即興的な表現を中心に
	11	音楽づくりの技能と工夫③—リズムや音階が重要な役割を果たす音楽を中心に
	12	音楽づくりの技能と工夫④—拍のないリズム・調性のない音楽を中心に
	13	鑑賞①—クラシック音楽を中心に
	14	鑑賞②—我が国や諸外国の音楽を中心に
	15	鑑賞③—現代音楽、前衛音楽、実験的な音楽を中心に

⑦ 鍵盤楽器による伴奏の技能に重点を置いた授業構成例

授業スケジュール	回	
	1	伴奏の役割 伴奏に用いられる楽器・機器
	2	伴奏の技能と工夫①—打楽器による伴奏の実践
	3	伴奏の技能と工夫②—鍵盤楽器演奏の際の姿勢・指番号・指使い・練習方法
	4	音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語と、その働きの理解
	5	伴奏の技能と工夫③—主旋律と低声部に焦点をあてて
	6	伴奏の技能と工夫④—和音及びコードネームの理解
	7	伴奏の技能と工夫⑤—曲の特徴にふさわしい表現を目指して
	8	伴奏の技能と工夫⑥—練習方法の振り返りと改善
	9	伴奏の技能と工夫⑦—伴奏形・リズム形の工夫
	10	伴奏の技能と工夫⑧—旋律に合った伴奏のつけ方
	11	伴奏の技能と工夫⑨—移調奏
	12	伴奏の技能と工夫⑩—楽譜どおりに演奏することが困難な場合の方法
	13	伴奏の実践①—歌唱共通教材を中心に
	14	伴奏の実践②—ポピュラー音楽等の新しい歌を中心に
	15	伴奏の実践③—我が国や郷土の音楽を中心に

## (7) 小学校教員養成課程 図画工作科事例集

### 1. 図画工作科の指導法

#### ① コアカリキュラム学習項目のみで構成

模擬授業をまとめて行う例

授業 スケジュール	回	
	1	図画工作科の意義と教科観
	2	学習の目標と指導内容 1—「表現」領域
	3	学習の目標と指導内容 2—「鑑賞」領域
	4	学習の目標と指導内容 3—「共通事項」
	5	学習の目標と指導内容 4—「表現」と「鑑賞」の一体化
	6	児童の発達と学習 1—創造的自己表現の発達
	7	児童の発達と学習 2—美的感性の発達
	8	学習評価 1—「表現」領域
	9	学習評価 2—「鑑賞」領域
	10	指導技術—学習集団、学習活動の構成、環境設定、安全指導など
	11	学習指導計画の立案
	12	教材研究の方法
	13	模擬授業 1—「表現」領域に関する授業
	14	模擬授業 2—「鑑賞」領域に関する授業
	15	筆記試験

#### ② コアカリキュラム学習項目のみで構成

模擬授業を分散させた例

授業 スケジュール	回	
	1	図画工作科の意義と教科観
	2	学習の目標と指導内容 1—「表現」領域
	3	児童の発達と学習 1—創造的自己表現の発達
	4	学習評価 1—「表現」領域
	5	指導技術—学習集団、学習活動の構成、環境設定、安全指導など
	6	学習指導計画の立案
	7	教材研究の方法
	8	模擬授業 1—「表現」領域に関する授業
	9	学習の目標と指導内容 2—「鑑賞」領域
	10	学習の目標と指導内容 3—「共通事項」
	11	学習の目標と指導内容 4—「表現」と「鑑賞」の一体化
	12	児童の発達と学習 2—美的感性の発達
	13	学習評価 2—「鑑賞」領域
	14	模擬授業 2—「鑑賞」領域に関する授業
	15	筆記試験



③ コアカリキュラム学習項目以外の項目を追加して構成

活動例を示し、模擬授業を重視した例

授業 スケジュール	回	
	1	図画工作科の意義と教科観
	2	「表現」領域の学習事例の検討（ビデオ視聴）
	3	「鑑賞」領域の学習事例の検討（ビデオ視聴）
	4	「共通事項」の学習事例の検討（ビデオ視聴）
	5	「表現」と「鑑賞」を一体化させた学習事例の検討（ビデオ視聴）
	6	グローバル教育を目的とした学習事例の検討（ビデオ視聴）
	7	児童の発達と学習評価—児童作品とワークシート内容などの分析と検討
	8	材料や用具の扱い方と安全指導に関する実習
	9	学習指導計画の立案
	10	教材研究の方法
	11	模擬授業1—「表現」領域に関する授業
	12	リフレクションを踏まえた模擬授業1—「表現」領域に関する授業
	13	模擬授業2—「鑑賞」領域に関する授業
	14	リフレクションを踏まえた模擬授業2—「鑑賞」領域に関する授業
	15	筆記試験

2. 図画工作に関する専門的事項

コアカリキュラムの学習項目を元に構成されるシラバス例①～⑧を提示する。①，②は1単位，③～⑧は2単位を想定した例である。授業の実施方法は様々であり，各学習項目が網羅されていれば各大学の実状に応じた創意工夫を生かした授業内容や授業構成が可能である。また，以下に示す例に挙げられた各授業を組み合わせてもよい。また，オムニバスで開講する場合は，実態に合わせて柔軟に項目を分けることも可能である。

① 1単位8コマ分の授業構成例

教科内容で構成した例

授業 スケジュール	回	
	1	図画工作の内容と育成する資質・能力，〔共通事項〕の理解
	2	造形遊びの指導：材料・場・空間・表現の関係について
	3	造形遊びの指導：造形遊び演習
	4	絵や立体，工作の指導：絵の理論と演習
	5	絵や立体，工作の指導：立体の理論と演習
	6	絵や立体，工作の指導：工作の理論と演習
	7	鑑賞の指導：鑑賞作品の理論と作品の選定
	8	鑑賞の指導：対話型鑑賞演習

② 1単位8コマ分の授業構成例

育成する資質・能力で構成した例

授業スケジュール	回	
	1	造形的な視点に関する学習1：表現と〔共通事項〕
	2	造形的な視点に関する学習2：鑑賞と〔共通事項〕
	3	創造的な発想や構想と表現1：表現と〔共通事項〕
	4	創造的な発想や構想と表現2：鑑賞と〔共通事項〕
	5	作品や生活の中の造形などに対して自分の見方や感じ方を深める学習1：表現と〔共通事項〕
	6	作品や生活の中の造形などに対して自分の見方や感じ方を深める学習2：鑑賞と〔共通事項〕
	7	図画工作科の学習内容を生活や社会と関連づける学習1：表現と〔共通事項〕
	8	図画工作科の学習内容を生活や社会と関連づける学習2：鑑賞と〔共通事項〕

③ 2単位15コマ分の授業構成例

教科内容を分けて実施した例

授業スケジュール	回	
	1	図画工作の内容と育成する資質・能力,〔共通事項〕の理解
	2	造形遊びの指導1：造形遊びの基礎的知識・技能の理解と育成する資質・能力
	3	造形遊びの指導2：作品制作と相互鑑賞
	4	絵の指導1：絵の基礎的知識・技能の理解と育成する資質・能力
	5	絵の指導2：作品制作（絵画・版画・デザイン・メディア表現等）
	6	絵の指導3：作品制作と相互鑑賞
	7	立体の指導1：立体の基礎的知識・技能の理解と育成する資質・能力
	8	立体の指導2：作品制作（彫塑・彫刻等）
	9	立体の指導3：作品制作と相互鑑賞
	10	工作の指導1：工作の基礎的知識・技能の理解と育成する資質・能力
	11	工作の指導2：作品制作（工芸・デザイン等）
	12	工作の指導3：作品制作と相互鑑賞
	13	鑑賞の指導1：鑑賞の基礎的知識・技能の理解と育成する資質・能力
	14	鑑賞の指導2：鑑賞
	15	鑑賞の指導3：鑑賞と振り返り

④ 2単位15コマ分の授業構成例

1つの題材に複数の教科内容を含んだ例

授業スケジュール	回	
	1	図画工作の内容と育成する資質・能力,〔共通事項〕の理解
	2	色・形・イメージの活用：色面構成による自己表現と他者理解
	3	絵1：対話型鑑賞
	4	絵2：描画の基礎的理解（平面作品における見方・考え方の理解）、作品制作（スケッチ）
	5	絵3：作品制作（着色）
	6	立体・工作1：鑑賞（マスクの歴史と多様な表現方法の理解）、作品の構想
	7	立体・工作2：画用紙を用いた型づくり（立体作品における見方・考え方の理解）
	8	立体・工作3：ペーパーマシェによる立体づくり
	9	立体・工作4：着色1（絵具の基本的な使い方）
	10	立体・工作5：着色2（多様な表現方法の理解）
	11	立体・工作6：鑑賞（評価方法の理解）
	12	造形遊び1：新聞紙を用いた表現と作品の写真撮影

	13	造形遊び2：作品の写真を用いた相互鑑賞とふりかえり（製作過程の省察と作品設置場所の変容への気付き）
	14	造形遊び3：鑑賞（インスタレーションによる表現の理解）
	15	造形遊び4：造形あそび1とは異なる場所での新聞紙を用いた表現と相互鑑賞

⑤ 2単位15コマ分の授業構成例

扱う材料を基軸とした授業構成の例

授業スケジュール	回	
	1	図画工作の内容と育成する資質・能力, [共通事項] の理解
	2	水彩絵具を用いた絵と鑑賞1
	3	水彩絵具を用いた絵と鑑賞2
	4	水彩絵具を用いた造形遊びと鑑賞
	5	水彩絵具を用いたデザインと鑑賞
	6	紙を用いた版画と鑑賞1
	7	紙を用いた版画と鑑賞2
	8	紙を用いた造形遊びと鑑賞
	9	紙を用いた立体と鑑賞1
	10	紙を用いた立体と鑑賞2
	11	木材を用いた工作と鑑賞1
	12	木材を用いた工作と鑑賞2
	13	多様な材料を用いた表現と鑑賞1
	14	多様な材料を用いた表現と鑑賞2
	15	図画工作科における見方・考え方

⑥ 2単位15コマ分の授業構成例

発達段階を考慮した授業構成の例

授業スケジュール	回	
	1	図画工作の内容と育成する資質・能力, [共通事項] の理解
	2	低学年で育成すべき資質・能力と学習内容1：造形遊び
	3	低学年で育成すべき資質・能力と学習内容2：表現・絵や立体, 工作①
	4	低学年で育成すべき資質・能力と学習内容3：表現・絵や立体, 工作②
	5	低学年で育成すべき資質・能力と学習内容4：鑑賞
	6	中学年で育成すべき資質・能力と学習内容1：造形遊び
	7	中学年で育成すべき資質・能力と学習内容2：表現・絵や立体, 工作①
	8	中学年で育成すべき資質・能力と学習内容3：表現・絵や立体, 工作②
	9	中学年で育成すべき資質・能力と学習内容4：鑑賞
	10	高学年で育成すべき資質・能力と学習内容1：造形遊び
	11	高学年で育成すべき資質・能力と学習内容2：表現・絵や立体, 工作①
	12	高学年で育成すべき資質・能力と学習内容3：表現・絵や立体, 工作②
	13	高学年で育成すべき資質・能力と学習内容4：鑑賞
	14	図画工作科と社会との連携
	15	リフレクション

⑦ 2単位15コマ分の授業構成例

現代的な方法による授業構成の例

授業 スケジュール	回	
	1	図画工作の内容と育成する資質・能力, [共通事項] の理解
	2	身近にある様々なデザインの調査 (美術と社会の繋がり)
	3	ユニバーサルデザインの視点による作品制作①
	4	ユニバーサルデザインの視点による作品制作②, 相互鑑賞
	5	地域との連携をテーマとした美術表現の理解
	6	アートプロジェクトの企画① (協働的活動による問題発見)
	7	アートプロジェクトの企画② (協働的活動による活動内容の考案)
	8	アートプロジェクトのプレゼンテーション (協働的活動)
	9	ICT を用いた多様な表現の理解
	10	タブレットを用いた動画制作①
	11	タブレットを用いた動画制作②
	12	近・現代美術史概論
	13	近隣の美術館の所蔵作品の調査
	14	対話型鑑賞 1
	15	対話型鑑賞 2

⑧ 2単位15コマ分の授業構成例

育成する資質・能力で構成した例

授業 スケジュール	回	
	1	図画工作の内容と育成する資質・能力
	2	[共通事項] の理解と演習
	3	造形的な視点に関する学習 1 : 造形遊び
	4	造形的な視点に関する学習 2 : 絵や立体, 工作
	5	造形的な視点に関する学習 3 : 鑑賞
	6	創造的な発想や構想と表現 1 : 造形遊び
	7	創造的な発想や構想と表現 2 : 絵や立体, 工作
	8	創造的な発想や構想と表現 3 : 鑑賞
	9	作品や生活の中の造形などに対して自分の見方や感じ方を深める学習 1 : 造形遊び
	10	作品や生活の中の造形などに対して自分の見方や感じ方を深める学習 2 : 絵や立体, 工作
	11	作品や生活の中の造形などに対して自分の見方や感じ方を深める学習 3 : 鑑賞
	12	図画工作科の学習内容を生活や社会と関連づける学習 1 : 造形遊び
	13	図画工作科の学習内容を生活や社会と関連づける学習 2 : 絵や立体, 工作
	14	図画工作科の学習内容を生活や社会と関連づける学習 3 : 鑑賞
	15	リフレクション

## (8) 小学校教員養成課程 家庭科事例集

コアカリキュラムの学習項目を元に構成されるシラバス例①～⑤を提示する。①及び②は、コアカリキュラムの学習項目のみで構成されたものであり、個々の学習項目を1回の授業で扱う必要があるわけではない。1つの項目を複数回の授業で扱うことも、複数の項目を1回の授業で扱うことも可能である。シラバスを作成する際は、コアカリキュラムの学習項目と必ずしも同一の表現を使う必要はない。

### 1. 家庭科の指導法

#### ① コアカリキュラム学習項目のみで構成

模擬授業をまとめて行う例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション 生活環境の変化や児童の実態
	2	家庭科の意義と家庭科観の変遷 家庭科の背景となる関連諸学問や領域
	3	学習指導要領、教育目標、教育内容
	4	児童の発達や学習
	5	学習集団の組織、学習活動の構成（討論・ディベート・実習等）
	6	学習方法（ICTなどの活用法、コミュニケーション技法）
	7	個々の児童の理解と対応（他教科などとの関連を含む）
	8	学習評価
	9	指導計画（学習指導案など）
	10	教材研究
	11	模擬授業発表（1）・振り返り
	12	模擬授業発表（2）・振り返り
	13	模擬授業発表（3）・振り返り
	14	授業改善
	15	まとめ

#### ② コアカリキュラム学習項目のみで構成

模擬授業を分散させた例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション 生活環境の変化や児童の実態
	2	家庭科の意義と家庭科観の変遷 家庭科の背景となる関連諸学問や領域
	3	学習指導要領、教育目標、教育内容
	4	指導計画（学習指導案など）
	5	学習形態
	6	学習方法
	7	学習評価
	8	児童の発達や学習
	9	教材研究
	10	模擬授業発表（1）・振り返り
	11	ICTなどの活用法、コミュニケーション技法
	12	模擬授業発表（2）・振り返り
	13	学習集団の組織及び、小集団での活動の導き方

	14	模擬授業発表（3）・振り返り
	15	まとめ

③ コアカリキュラム学習項目以外の項目を追加して構成

活動例を示し、模擬授業を重視した例

授業 スケジュール	回	
	1	オリエンテーション 生活環境の変化や児童の実態
	2	家庭科の意義と家庭科観の変遷
	3	学習指導要領、教育目標、教育内容
	4	児童の発達や学習
	5	学習形態、学習集団の組織、学習活動の構成（討論・ディベート・実習等）
	6	学習方法、ICTなどの活用法、コミュニケーション技法
	7	学習評価
	8	教材研究
	9	指導計画（年間指導計画、題材計画など）
	10	指導計画（1時間の授業構成、学習指導案、学習状況の評価）
	11	模擬授業の準備、教材作成等
	12	模擬授業発表（1）・振り返り
	13	模擬授業発表（2）・振り返り
	14	模擬授業発表（3）・振り返り
	15	まとめ

④ コアカリキュラム学習項目以外の項目を追加して構成

小学校での授業観察を組み込み、実践的な内容を重視した例

授業 スケジュール	回	
	1	オリエンテーション 生活環境の変化や児童の実態
	2	家庭科の意義と家庭科観の変遷
	3	学習指導要領（目標・内容・評価の観点）
	4	小学校での授業観察
	5	児童の発達や学習
	6	学習形態、学習集団の組織、学習活動の構成（討論・ディベート・実習等）
	7	学習方法、ICTなどの活用法、コミュニケーション技法
	8	小学校での授業参観
	9	学習評価
	10	教材研究
	11	指導計画
	12	模擬授業発表（1）・振り返り
	13	模擬授業発表（2）・振り返り
	14	模擬授業発表（3）・振り返り
	15	まとめ

⑤ コアカリキュラム学習項目以外の項目を追加して構成

家庭科における指導のための基礎的な知識と演習を重視した例

授業 スケジュール	回	
	1	オリエンテーション 生活環境の変化や児童の実態
	2	家庭科の意義と家庭科観の変遷
	3	学習指導要領(目標・内容・評価の観点)
	4	授業映像の視聴と演習 生活課題解決学習による授業方法
	5	授業映像の視聴と演習 児童の発達と特徴
	6	授業映像の視聴と演習 学習方法、ICTなどの活用法、コミュニケーション技法
	7	授業映像の視聴と演習 学習形態、学習集団の組織、学習活動の構成(討論・ディベート・実習等)
	8	概念学習による授業
	9	実習による授業(1)
	10	実習による授業(2)
	11	指導計画(学習指導案など) 教材研究
	12	模擬授業発表(1)・振り返り
	13	模擬授業発表(2)・振り返り
	14	模擬授業発表(3)・振り返り
	15	まとめ

2. 家庭科に関する専門的事項

コア・カリキュラムの学習項目を元に構成されるシラバス例①～②を提示する。①は1単位、②は2単位を想定した例である。いずれの事例も各回の授業を「授業実践に必要な生活を創意工夫する力」「小学校家庭科に関する背景的な知識・技能」などの項目で実施する事例となっているが、オムニバスで開講する場合などは、実態に合わせて柔軟に回ごとに項目を分けることも可能である。なお、家庭科は、調理実習や被服製作等の実習の指導を伴う教科であり、知識の習得だけでなく学生自身の技能習得が不可欠であることから、その学習機会を確保するため、できれば、2単位の科目設定とすることが望ましい。

① 1単位8コマ分の授業構成例

授業 スケジュール	回	
	1	オリエンテーション 生活の営みを捉える視点に関する知識
	2	家族・家庭生活に関する内容と視点
	3	衣生活に関する内容と視点
	4	食生活に関する内容と視点
	5	住生活に関する内容と視点
	6	消費生活に関する内容と視点
	7	生活環境に関する内容と視点
	8	まとめ

② 2単位15コマ分の授業構成例

自立した生活者としての資質・能力の向上と実践的・体験的知識・技能の習得を中心とした例

授業 スケジュール	回	
	1	オリエンテーション 生活の営みを捉える視点に関する知識
	2	家族・家庭生活に関する基礎的知識
	3	討議・ロールプレイングなどの基礎的技術
	4	衣生活に関する基礎的知識
	5	製作に関する基礎的技術(1)
	6	製作に関する基礎的技術(2)
	7	食生活に関する基礎的知識
	8	調理に関する基礎的技術(1)
	9	調理に関する基礎的技術(2)
	10	住生活に関する基礎的知識
	11	住生活に関するフィールドワークなどの基礎的技術
	12	消費生活と環境に関する基礎的知識
	13	生活環境に関する基礎的知識
	14	消費生活と生活環境に関するフィールドワークなどの基礎的技術
	15	まとめ



## (9) 小学校教員養成課程 体育科事例集

コアカリキュラムの学習項目を元に構成されるシラバス例①～⑤を提示する。①及び②は、コアカリキュラムの学習項目のみで構成されたもの、③～⑤は項目を追加した例である。個々の学習項目を1回の授業で扱う必要があるわけではない。1つの項目を複数回の授業で扱うことも、複数の項目を1回の授業で扱うことも可能である。シラバスを作成する際は、コアカリキュラムの学習項目と必ずしも同一の表現を使う必要はない。

### 1. 体育科の指導法

#### ① コアカリキュラム学習項目のみで構成

模擬授業をまとめて行う例

授業 スケジュール	回	
	1	オリエンテーション, 学習指導要領
	2	小・中・高等学校の連携と小学校の役割, 児童や学校の多様性への対応, 主教材
	3	体育科の目標
	4	体育科の内容
	5	体育科の方法
	6	体育科の計画 (年間指導計画・単元計画等)
	7	体育科の実践 (1時間の授業づくり, 学習指導案等)
	8	体育科の評価 (学習到達目標の活用を含む)
	9	題材の選定, 教材研究, ICT 等の活用
	10	運動の示範と提示の仕方, 資料からの読み取りの引き出し方
	11	課題解決的な学習への導き方
	12	模擬授業 (1)
	13	模擬授業 (2)
	14	模擬授業 (3) 振り返り
	15	まとめ

#### ② コアカリキュラム学習項目のみで構成

模擬授業を分散させた例

授業 スケジュール	回	
	1	オリエンテーション, 学習指導要領
	2	小・中・高等学校連携, 児童や学校の多様性への対応, 主教材
	3	体育科の目標
	4	体育科の内容
	5	体育科の方法
	6	体育科の計画 (年間指導計画・単元計画等)
	7	体育科の実践 (1時間の授業づくり, 学習指導案等)
	8	模擬授業 (第3学年)
	9	題材の選定, 教材研究, ICT 等の活用
	10	模擬授業 (第4学年)
	11	運動の示範と提示の仕方, 資料からの読み取りの引き出し方

	12	模擬授業（第5学年）
	13	課題解決的な学習への導き方
	14	模擬授業（第6学年）
	15	まとめ

③ コアカリキュラム学習項目以外の項目を追加して構成

活動例を示し、模擬授業を重視した例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション、体育科教育全体把握
	2	学習指導要領、主教材、ICT等の活用
	3	体育科の目標
	4	体育科の内容
	5	体育科の方法
	6	体育科の実践
	7	題材の選定、教材研究、ICT等の活用
	8	運動の示範と提示の仕方、資料からの読み取りの引き出し方
	9	指導計画（年間指導計画、単元構成）
	10	指導計画（1時間の授業構成、学習指導案）、学習状況の評価
	11	模擬授業設計準備、題材、教材
	12	模擬授業発表・振り返り（1）
	13	模擬授業発表・振り返り（2）
	14	模擬授業の授業改善
	15	小・中・高等学校の連携と小学校の役割 まとめ

④ コアカリキュラム学習項目以外の項目を追加して構成

小学校での授業観察、授業参加を組み込み、実践的な内容を重視した例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション、体育科教育全体把握
	2	学習指導要領、主教材、ICT等の活用
	3	体育科の目標
	4	体育科の内容
	5	体育科の方法
	6	題材の選定、教材研究、ICT等の活用
	7	運動の示範と提示の仕方、資料からの読み取りの引き出し方
	8	課題解決的な学習への導き方
	9	指導計画（年間指導計画、単元計画）、学習状況の評価
	10	学習指導目標、指導計画（1時間の授業構成、学習指導案）
	11	模擬授業発表、振り返り
	12	小学校での授業観察
	13	小学校での授業参観、活動参加
	14	授業の振り返り、授業改善
	15	小・中・高等学校の連携と小学校の役割 まとめ

⑤ コアカリキュラム学習項目以外の項目を追加して構成

体育科における指導のための基礎的な知識と演習を重視した例

授業スケジュール	回	
	1	オリエンテーション, 体育科創設の経緯・現状
	2	学習指導要領の趣旨理解, 小・中・高等学校の連携と小学校の役割
	3	体育科の目標
	4	体育科の内容と方法
	5	主教材(中学年用), ICT等の活用の仕方, 学習到達目標, 指導計画
	6	授業映像の視聴(中学年の体育科), 討議
	7	主教材(高学年用), ICT等の活用の仕方, 題材, 教材, 学習状況の評価
	8	映像視聴(高学年の体育科), 討議
	9	模擬授業設計・準備(中学年:体育科の授業), 運動の示範と提示の仕方, 資料からの読み取りの引き出し方
	10	模擬授業発表・振り返り・授業改善(1)
	11	模擬授業発表・振り返り・授業改善(2)
	12	模擬授業設計・準備(高学年:外国語科の授業), 課題解決的な学習への導き方
	13	模擬授業発表・振り返り・授業改善(3)
	14	模擬授業発表・振り返り・授業改善(4)
	15	児童や学校の多様性, 体育科の評価, まとめ

2. 体育科に関する専門的事項

コアカリキュラムの学習項目を元に構成されるシラバス例①～②を提示する。①は1単位, ②は2単位を想定した例である。いずれの事例も各回の授業を「各種の運動と健康・安全に関する背景的な知識と技能」「心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力」などの2つの項目に分けて実施する事例となっているが, オムニバスで開講する場合などは, 実態に合わせて柔軟に回ごとに項目を分けることも可能である。

① 1単位8コマ分の授業構成例

授業スケジュール	回	各種の運動と健康・安全に関する背景的な知識と技能	心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力
	1	オリエンテーション	
	2	体づくり運動系に関する基本的な知識と技能	その特性に応じた各種の運動の行い方について理解すること
	3	器械運動系に関する基本的な知識と技能	その特性に応じた各種の運動の基本的な動きや技能を身に付けること
	4	陸上運動系に関する基本的な知識と技能	運動についての自己の課題を見付けること
	5	水泳運動系に関する基本的な知識と技能	自己の課題の解決に向けて思考し判断すること
	6	ボール運動系に関する基本的な知識と技能	運動について他者に伝える力を養うこと
	7	表現運動系に関する基本的な知識と技能	運動に親しむとともに体力の向上を目指し, 楽しく明るい生活を営む態度を養うこと
	8	健康・安全に関する基本的な知識と技能	心身の健康を保持増進すること

② 2単位15コマ分の授業構成例

心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の向上と運動領域に関する理解を中心とした例

授業 スケジュール	回	各種の運動と健康・安全に関する背景的な知識 と技能	心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフ を実現するための資質・能力
	1	オリエンテーション	
	2	体づくり運動系に関する基本的な知識	その特性に応じた各種の運動の行い方について理解すること(1)
	3	体づくり運動系に関する基本的な技能	その特性に応じた各種の運動の行い方について理解すること(2)
	4	器械運動系に関する基本的な知識	その特性に応じた各種の運動の基本的な動きや技能を身に付けること(1)
	5	器械運動系に関する基本的な技能	その特性に応じた各種の運動の基本的な動きや技能を身に付けること(2)
	6	陸上運動系に関する基本的な知識	運動についての自己の課題を見付けること(1)
	7	陸上運動系に関する基本的な技能	運動についての自己の課題を見付けること(2)
	8	水泳運動系に関する基本的な知識	自己の課題の解決に向けて思考し判断すること(1)
	9	水泳運動系に関する基本的な技能	自己の課題の解決に向けて思考し判断すること(2)
	10	ボール運動系に関する基本的な知識	運動について他者に伝える力を養うこと(1)
	11	ボール運動系に関する基本的な技能	運動について他者に伝える力を養うこと(2)
	12	表現運動系に関する基本的な知識	運動に親しむとともに体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養うこと(1)
	13	表現運動系に関する基本的な技能	運動に親しむとともに体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養うこと(2)
	14	健康・安全に関する基本的な知識	心身の健康を保持増進すること(1)
	15	健康・安全に関する基本的な技能	心身の健康を保持増進すること(2)